



しかはま自然観察会

のらえもん

2026 年度

No. 8

2026. 09. 13

『 人も 自然も みんな友だち 』

第 8 回活動 稲刈り体験とハム工場見学

9 月に入ってから、ずっと雨。
田んぼには 10 cm ぐらい水がたまっている。
こんなの、はじめてだ！
うまく刈れるかな？
なんと、1 時間で刈り上げてしまった。
もう、みんなベテランなんだ。
たまった水のおかげで、カエルがびよんびよんはねている。
ザリガニがいた。カナヘビがいた。イナゴ・ガムシもいた。
子どもたちは、網や虫かごを持って、水をけつとぼしながら
走り回っている。
そのうち、水たまりに、ボットン！

田んぼはお米を育て、
カエルやイナゴなどの生き物も育てているようです。
もう一つ、
子どもたちに虫遊びを提供し、
大人たちには気持ちの安らぎを与えてくれているようです。

1, 日 時：2026 年 9 月 13 日（日）全日

2, 天 気：曇り 気温 10 : 00 24, 6℃

3, 場 所：宅間農園 茨城県常総市大生郷新田 1558
筑波ハム工場見学 茨城県つくば市下平塚 383

4, 参加者：総数 35	内訳	大人	23	バス参加	22
		小学	5	車 参加	13
		幼児	3		
		スタッフ	4		

5, 活動の様子

○午前中の活動：稲刈り

宅間さんは、インフルエンザにかかっていた、とのことでした。

そんなわけで、今日は息子様が対応してくれました。

長雨のせいで、「コンバインを動かさなく、農作業は遅れている」と、話してくれました。コンバインの目がつまってしまうので、稲穂が乾いていないと仕事にならないそうです。

また、長雨に濡れたれた稲穂から芽が出てしまうと、品質がさがって価格にも影響するとのことでした。稲の生長は平年作並みで、反当たり8俵ぐらいと話してくれました。

それだけに、早く収穫したい気持ちが現れている息子さんでした。

田んぼに着くと、私たちが刈り取る分を残してくれていました。田植えをした広さです。これだけでも、200キロ以上は、収穫できるとのことでした。

水のたまった田んぼの稲刈りは、初めてです。

一瞬、どうやって刈ったらいいのか迷いました。が、水のたまった田んぼにしっかりと足を入れ、鎌を動かすことだと気づきました。

鎌を動かし始めると、早い、早い。

「時間が、かかるな」という心配をよそに、1時間で刈り取ってしまいました。

35人の気持ちが、一致協力した現れでした。さらに、「田植えのときに植えた小さな苗が、ここまで大きくたくましく育ってくれたね」という愛しの気持ちが伝わったのでした。

刈り取った稲束は、すべて道路わきの乾いたところに運んできました。

刈終わった田んぼ。稲株と水草と、そして水だけが残っています。そこに、子どもたちが走りこみました。

何かが、いるようです。

「カエル、つかまえた！」トノサマガエルやツチガエルのようです。

「これ、何？」「ガムシ」と、ゆうきくん。

アメリカザリガニやイナゴも見つけた。

そうくんは、カナヘビをつかまえた。

たんぼの水には、色々な生き物が集まってくるようです。

田んぼに生える植物にも、目をむきたいものです。

水を張る田んぼは、畑よりはずっと草は少ないのです。

稲が成長してくると日影になるため、日影と水のすきな植物だけが生えてきます。その代表が「ひえ（稗）」（タイヌビエ）です。人に抜かれないようにするため、姿を稲に似せています。葉は、ほとんど見分けが付きません。稲穂が頭を垂れてくるころ、その上にひえの穂が伸びてきます。太陽をいっぱい浴びてよく熟させ、種をばらまこうようという戦略です。

タイヌビエを見つけたら、すぐに抜きとらなければなりません。放っておくとどんどん増えて、稲の収量を減らしてしまいます。

コンバインで、稲穂もひえもいっしょに収穫してしまう風景が当たり前になってきました。しかし、ひえの種は、田んぼに残したままです。

私は、幼少の頃、田んぼに入ってひえ抜きを手伝いました。見つけたら、どんな場所にあっても抜きに行くのです。ですから、どこの田んぼにも、今のようにひえを生えたままにした風景は見られませんでした。

畔だって同じです。今は、草ぼうぼうです。除草剤を撒いても、やがて生えてきます。当時は、鎌で、畔をなめるように刈りとったので、ひえなどの草は大きくなれなかったのです。

農作業が機械化されたのはいいのですが、その分、田んぼに対する愛情が薄れてきているように思えるの私だけでしょうか。

右、ひえ（タイヌビエ）の写真。
手前がひえ、奥が稲の穂。
葉は、見分けがほとんど
できません。
種の違いはわかります。



○午後の活動：筑波ハム工場見学

道の駅「常総」で昼食をとった後、筑波ハム工場へ向かいました。
つくば学園都市の中の一角にあります。

筑波ハム

1981年創業。

原料の豚肉はもちろんのこと、その飼料や飼育環境にも工夫を重ねるハム工場。

3大特徴

- 長期熟成 3～7日、低温塩漬けで熟成
- 炭火乾燥 炭火でゆっくり乾燥
- 桜の薪 2年以上乾燥させた桜の薪で燻煙

ローズハムを、食味してみました。
綿布で2重に巻いてありました。
味わってみると、「これが、本物の、ハムの味だ！」と、みんなで声を上げました。
厚きりしたハムを口に入れると、ベタベタ感はなく、サクサクと歯切れよく、桜の炭火の燻煙がうまみを引き出しているようでした。

6, ふり返りの感想

○トカゲをつかまえました。

うれしかったです。

東伊興小1年

○ハム工場で、ししょくやばい店にたくさんのしょう品があつて、たのしかったです。

いねかりで、お米をかれて、よかったです。

いねかりで かえるやトカゲ つかまえた

東伊興小3年

○今回は田植えには参加できませんでしたが、稲刈りに参加できて良かったです。

今年の長雨・ごう雨で色々考えさせられることがありますが、毎回、田んぼの役割について学ぶことがおおいです。

稲刈りの 隣で虫とり 我が息子

鹿浜こども園

○いねかりでいねをかったり、

ハム工場でししょくやお店でレモンスカッシュをのめたり、

売店でおみやげをかって、たのしかったです。

いねかりで かえるやとかげ つかまえた

新田小3年

○今年も、のらえもんの皆さんと稲刈りができたことに感謝いたします。

連日の雨で、予想以上の水が田んぼにありましたが、その分たくさんの虫や生き物に出会えました。

田んぼは、実りだけではなく、生態系の重要な役割をしていると、改めて実感しました。

様々な 実りをもたらす 米作り

黄金色 豊かな実りに 感謝する

本木東保育園

○今日は、いねかりりをしたり、ハム工場を見学したりして、とても楽しかったです。

とくに、いねかりは、服がよごれたりしたけれど、さいしょはぜんぜんうまくかれなかったのに、さいごは早くうまくかれて、うれしかったです。

いねかりで たくさんたたく いなほかる

伊興小4年

○今日の稲刈りは、娘がたたくさん稲を刈ってくれたので、私はひもでむすぶ作業に追われました。

娘はペースよく稲刈りをし、「ここに置くね」と声をかけてくれたり、周りを見ながら進んでいないところを率先してやる姿を見て、成長を感じました。

ザクザクと 鎌の音頼もしく 稲刈る子

母

○娘が、あきずに一生懸命稲かりをしていた姿を見て、成長が実感できて、良かった。

稲かりで 子供の成長 実感す

父

○1年ぶりの稲刈りで、少し小雨が降っていましたが、曇りで、昨年よりは涼しく、
いっぱい刈る経験ができました。

ありがとうございました。

来年も豊作を願って、また参加できたらいいなと思います。

毎年、大変な作業を経験させていただき、ありがとうございます。

頑張って 刈ったお米は 美味しいね

加賀保育園

○雨続きで、田んぼに足をとられながらの稲刈りでした。

機械がなければ人の手で行なわれてきたこと、大変な作業だったと思います。

雨あがり 田んぼの土に 足とられ

加賀保育園

○田植えから、あっという間に稲刈りになりました。

保育園の稲もぐんぐん成長していき、子どもたちと日々の観察を楽しんでいます。

あんなに小さかった苗が、伸びて行き、花が咲いて、お米ができる過程を素晴らしいと思います。

ありがとうございます。

稲を刈り 汗みず流れ 大感謝

加賀保育園

○私は、田植えと稲刈りの作業をやらせていただいただけですが、刈りとった稲をあ
ぜ道まで運んでいるときにその重みを感じ、あらためて感謝を感じました。

いつも貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

稲たばね 麻ひもむすび 水ぶくれ

加賀保育園

○昨年は稲刈りに参加できず、残念でした。

今年は、長雨・大雨が続き、稲がどうなっているか心配でした。

宅間さん方のおかげで、大きく育った稲を刈ることができ、嬉しく思います。

感謝です。

腰を折り 稲より低く 頭さげ

上沼田保育園

○水害のニュースが多い中、田んぼに水をためておくことで排水を促すという話を聞
き、米つくりや昔からの人間の生活の知恵を大切にすること、生活を見直すことを
学びました。

楽で快適を求めてしまいましたが、丁寧な生活を考えなければと思いました。

宅間さん親子様に感謝いたします。

いつも貴重な体験を、ありがとうございます。

稲を刈る 鎌の切れ味 心地よい

稲刈りで 汗に吹く風 心地よい

田んぼの子 カエル追う声 心地よい

西保木間保育園

○雨が多く、降った後の田んぼは思いのほか水が多く、短めの長ぐつでは難しかったです。

それでも、古高先生の田んぼのもう一つの役割の話が、とてもよかったです。

たくさん降った雨の行先、そうなんだと思いました。

くつしたが ぬれる恐れで 稲を刈る

中島根保育園

○バッタかと思ったら、ふ化したばかりのイナゴがいて、驚きました。

水がたくさんあるのに、そこでおぼれずにたくましく生きている虫さんたちは、すごいなと思いました。

私は、今回で4回目の参加で、自分的にカマの使い方が上達したなと思いました。

今回の稲刈りも、

道の駅も、

ハム工場も、

ぜんぶ楽しかったです。

ありがとうございました。

虫たちの 田んぼさがし 稲を刈る

中央本町保育園

○本日、のらえもんでは、初の稲刈りに参加しました。

初回にしては、早く上手にできたと思います。

鉄腕DASHのおかげだと思います。

筑波ハム見学では、

ヨーグルトジェラードがとっても旨かったです。

初刈で 鉄腕仕込みの 技光る

HLA 東京3年

○朝は、天気を少し心配しましたが、みんなで稲刈りをして、充実感がありました。

古高先生から、田んぼの治水機能の話を聞き、自然の生態系を守る大切さも感じました。

筑波ハムのベーコンは、美味しかったです。

とても楽しかったです。

実った穂 束ねる指も 爽快感

母

○水の田はカエルやバッタがピョンピョンオモダカ・イグサも元気いっぱい

長雨でたっぷり水の溜まった田こうべを垂れる稲穂と生き物

うらめしく稲穂を見つめる息子さんコンバイン動かせない水の田

水の田を虫をさがして走り回るドボンと水に浸かる子もいて

豚の絵を見ながら工場見学し試食のロースハムを食う

これはうまいうまいうまいと盛り上がる筑波ハムのロースを味わう

古高 利男